



生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

羽生市立南中学校

令和5年 6月30日発行

南中だより7月号



マスクの脱却をどう考えていくのか？

校長 橋本 良典

先日読んだ著書(「マスク社会が危ない」子どもの発達に「毎日マスク」はどう影響するのか 京都大学教授 明和 政子 著)の中に、「パンデミック」・「新しい生活様式」が始まって大人だけでなく子ども達にとっても、心身に緊張、ストレスを強いられる日々の連続により、子どもの脳や心の働きの健全な発達が阻害されたと警鐘を促しております。

さて、6月6日(火)に行われた、体育祭は、熱中症予防・運動時の呼吸確保、生徒の表情がよく見られるようにと、マスクの着用は控えさせました。結果、これまで見たことのないようなあふれんばかりの“こころの表情や姿”が在りました。これは、見る立場からしてもとても心地よいもので、心が洗われたような感情になりました。

一方で、5月から5類に移行されたコロナですが、凶悪な犯罪や子どもを取り巻く環境の悪化が増えたようにも感じられます。強盗、凶悪犯罪、虐待、学校では長期欠席、事故等……。様々な要因があるのですが、コロナにより大人も子どもも、脳と心の働きのバランスが不安定になっていることも一因であると勝手に考えております。

ところで、先の著者は、乳幼児期と思春期は、相手の心を理解する能力や多くの言語、表現方法を獲得していく極めて重要な時期として述べています。そして、口元や顔の動き、表情により、相手の気持ちを読み取ったり、コミュニケーションを図ったりして、脳と心の働きに大きく影響すると脳科学の検知から論じています。さらには、思春期の子どものマスク着用は、感染不安もあるが、自分の顔をさらけ出すことに対する不安が大きな要因であるとも述べております。

南中学校の生徒は、コロナ前の日常が脳内にしっかりと記憶として残っている子ども達です。その記憶を封印して突然始まった新しい生活様式に順応するため、これまでがんばってきました。そして今、マスクのない日常に戻そうとさらなる努力を強いられるようになりました。子ども達がマスクの脱却をどう考えていくのか？そのプロセスを丁寧に見守ると共に、マスク着用による影響と関連付けて小さな変化を見逃さずに保護者と手を取りながら指導を進めてまいりたいと考えております。

埼玉県通信陸上大会 ~南中生覚醒!~ ※個人名は、大会当日電光掲示板に公表されておりますので掲載させていただきます。

6月14日(水)、15日(木)に熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で埼玉県通信陸上大会が行われました。3年生の山本達己君が、110mHで第1位、そして全国標準記録を突破する14秒59で走り、8月に愛媛で開催される全国大会出場を決めました。また、3年生の内海勇駕君も、400mで見事第4位(52秒73)になりました。



交通ルールの徹底 ~自分の命を守るために~

中学生が関係する交通事故の約6割は自転車事故で、そのうち交差点の出会い頭事故が約6割、そして、約8割に交通違反(一時停止違反など)があるそうです。

交差点での一時停止・安全確認を必ず行うなど、交通ルール・マナーを守り、安全な登下校をしてください。



日	曜日	予 定	日	曜日	予 定
1	土		15	土	
2	日		16	日	
3	月		17	月	海の日
4	火	月例費引き落とし	18	火	特別日課(4時間) 給食終了 水①②+大掃除③④
5	水	夏季総合体育大会1日目 特別日課(4時間)	19	水	特別日課(3時間)
6	木	夏季総合体育大会2日目 特別日課(4時間)	20	木	終業式
7	金	夏季総合体育大会3日目 特別日課(4時間) 木①③④⑤	21	金	夏季休業日(8月28日まで)
8	土	校外指導(夏祭り)	22	土	
9	日		23	日	
10	月	1学期末PTA 特別日課	24	月	表札訪問・家庭訪問 三者面談 (8月4日まで)
11	火	特別日課(5時間) 学校総合体育大会代表者会議	25	火	
12	水	特別日課(5時間)	26	水	
13	木	特別日課(5時間)	27	木	
14	金	特別日課(5時間) 金①②④⑤⑥	28	金	校外指導(夏季休業)
			29	土	
			30	日	
			31	月	

自己啓発の日: 12日、20日

下校指導: 12日